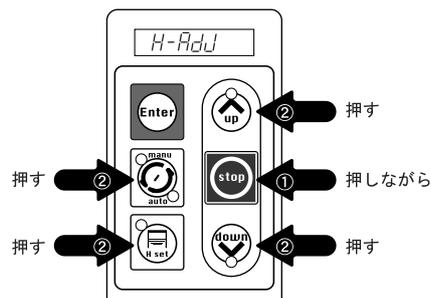


①-1. 上限/下限停止位置の設定方法

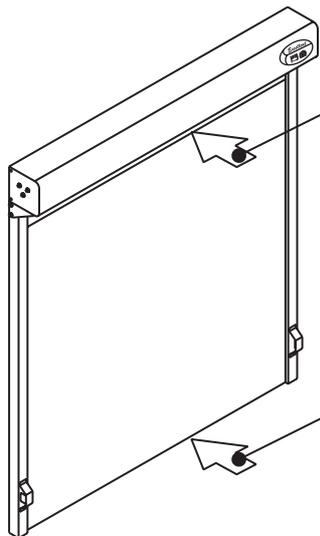
1. 運転モード から 設定モード に切り替える

autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。



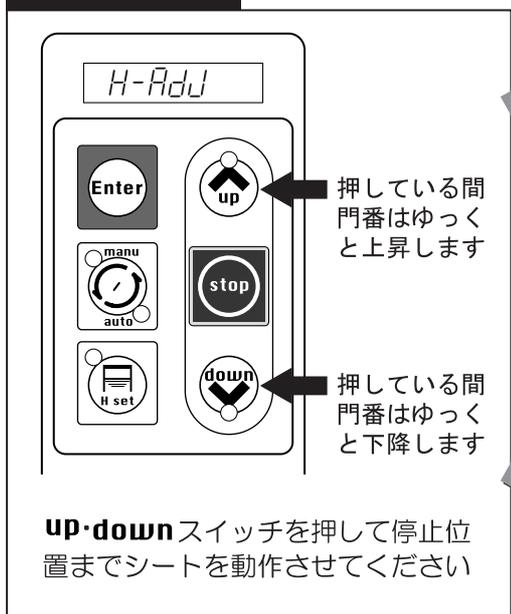
2. 設定モードで上限・下限停止位置の設定を行う



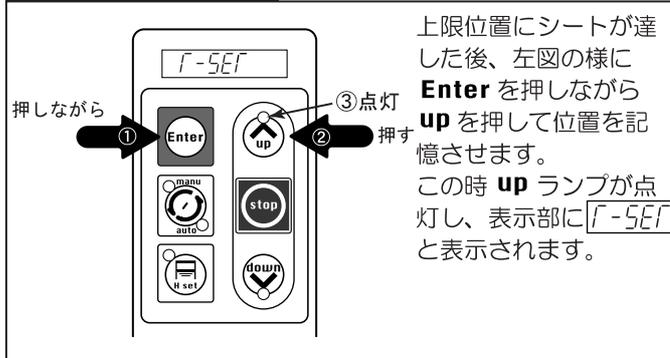
上限停止位置
巻取りボックス下から約100mm下がりの位置

下限停止位置
下端シートが床に隙間無く接触し、シートに弛みのないこと

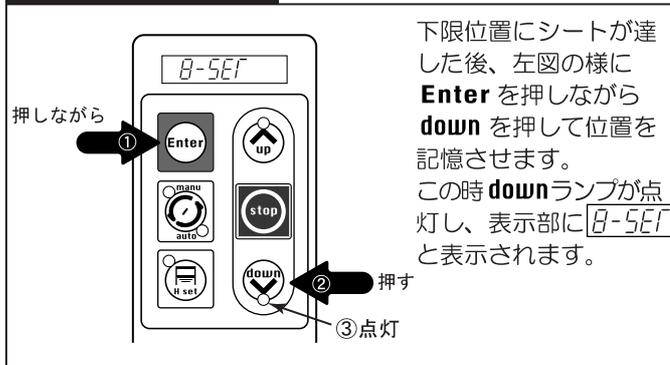
① 設定位置調整



② 上限停止位置設定



② 下限停止位置設定



3. 設定を終了し、設定モード から 運転モード に切り替える

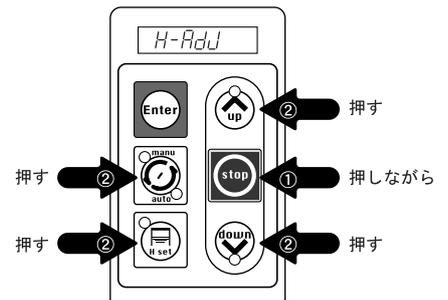
1. 運転モード から 設定モード に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。運転モードに復帰後、手動モードで上昇・下降動作をさせ停止位置をご確認ください。

①-2. 開口高停止位置の設定方法

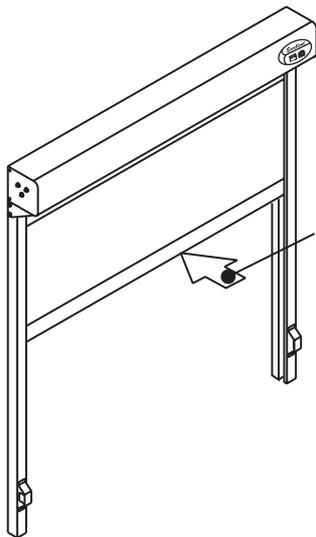
1. 運転モード から 設定モード に切り替える

autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。

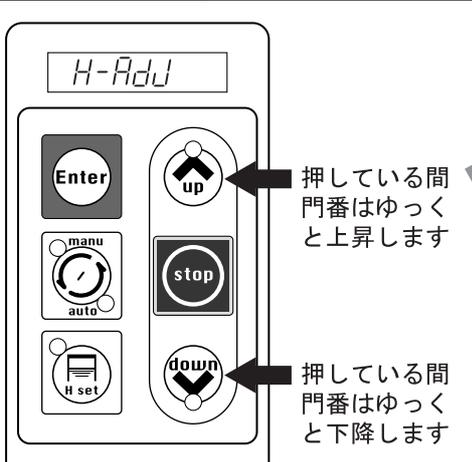


2. 開口高停止位置の設定



開口高停止位置
お好みの位置に合わせます

① 設定位置調整



up・downスイッチを押して停止位置までシートを動作させてください

② 開口高停止位置設定



設定したい位置にシートが達した後、左図の様に **Enter** を押しながらか **H set** を押して位置を記憶させます。この時 **H set** ランプが点灯し、表示部に **H-SET** と表示されます。

3. 設定を終了し、設定モード から 運転モード に切り替える

1. 運転モード から 設定モード に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。運転モードに復帰後、開口高停止位置をご確認ください。

①-3. 光電管キャンセル位置の設定方法

1. 機能の設定モードに切り替える ※ 機能の詳細については次ページより記載しております。

+ + を同時に押し、機能の設定モードにします。

を押し、項目 **7-OFF** を出し **7-00** に切替えます。 ※ (詳細は34ページを参照ください)

2. 運転モードに切り替える

+ + を同時に押し運転モードに戻します

3. 光電管センサーを確認する

ボタンを3秒以上押し続けます

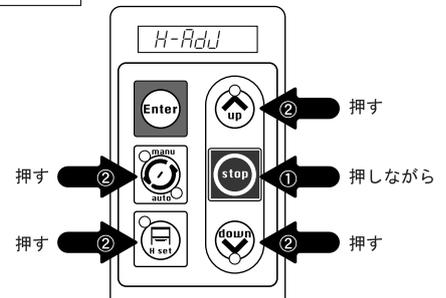
キャンセル設定は光電管センサー1対に
対して個々に行います
モニター機能を使い設定したい光電管
センサーを手などで検知させ確認します

表示	内容
-OFF	検知信号無し
05-00	光電管1 検知時
06-00	光電管2 検知時
07-00	光電管3 検知時
08-00	光電管4 検知時

4. (運転モード) から (設定モード) に切り替える

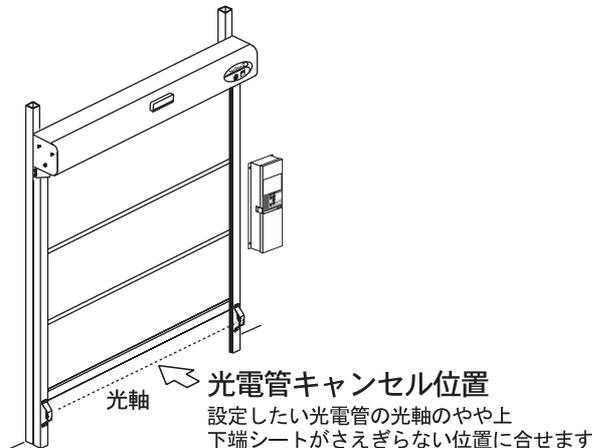
autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。



5. 光電管キャンセル位置の設定を行う

を押しシートを光電管キャンセル位置まで移動させます



6. 光電管キャンセル位置を記憶する

※ 3で確認したセンサーに対して5の操作を個々に行い、下図の操作で記憶させます

光電管1のキャンセル設定

表示 → 51-SEF

光電管2のキャンセル設定

表示 → 52-SEF

光電管3のキャンセル設定
(埋込光電管)

表示 → 53-SEF

光電管4のキャンセル設定
(埋込光電管)

表示 → 54-SEF

7. 設定を終了し、(設定モード) から (運転モード) に切り替える

4. (運転モード) から (設定モード) に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。

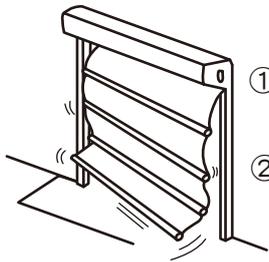
運転モードに復帰後、光電管センサーの動作をご確認ください。

パイプが外れた場合



警告

台風などの強風時は門番に近づかないでください。風にあおられたシートやパイプにより思わぬ事故になる場合があります。作業の際は必ず電源を切ってください。作業中門番が動作すると思わぬ事故になる場合があります。

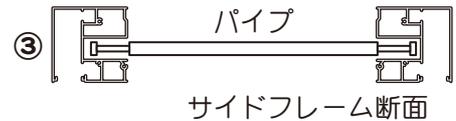
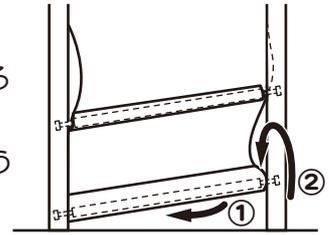


① 外れた片方のパイプをサイドフレームの奥まで入れる

② ①で入れたパイプが外れないよう押しつけながらもう一方を持ち上げ、サイドフレームに入れる。

③ 外れたパイプを入れた後、正しくサイドフレームに納まっているか確認する。

④ 電源をONし、手動モードで上昇下降動作を繰り返し正常に開閉することを確認する。



修復後はシートがスムーズに上下動作する場合は停止スイッチと下降スイッチを交互に押し寸動動作で下限位置まで下降させて作業してください。



警告

シート破れ・穴やパイプ折れ・曲がり・ローラー部・フレームなどに破損がある場合や、異音・動作に異常が見られる場合は、ご使用を止め速やかにお買い上げの取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると思わぬ事故や故障につながる場合があります。

パイプがやシャフトが折れて交換が必要な場合

ご使用中の製品について不明な点や事故が生じた際は内容をお控えいただき取扱店またはメーカーへお問い合わせください。トラブルの際はその時の状況をできるだけ詳しくお教えてください。

●ご使用中の門番の型式と製造番号 型式 () 製造番号 ()

●ご使用期間 約 () 年 () ヶ月

販売店 TEL ()